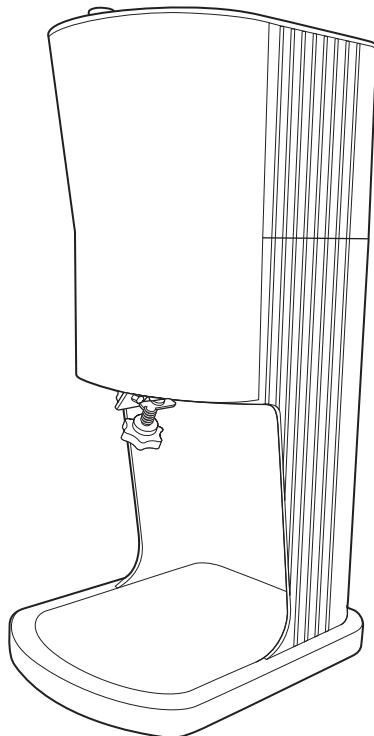


電動ふわふわとろ雪かき氷器 DTY-16

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意	P. 2~3
各部の名称とはたらき	P. 4
準備	P. 5
正しい使いかた	P. 6~8
お手入れと保存	P. 9~10
修理・サービスを依頼する前に	P. 11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕様

品 名	電動ふわふわとろ雪かき氷器	質 量	(約) 1.2kg
品 番	DTY-16	付 属 品	取扱説明書・保証書×1 レシピ×1 ふた付き製氷カップ×2 ※別売で製氷カップもお買い求めいただけます。
定 格 電 壓	AC100V		
定格周波数	50/60Hz		
定格消費電力	25W		
商品 サイズ	(約) 幅 14.5cm × 奥行 18.5cm × 高さ 34cm		<p>製氷カップは、こちらからもご購入いただけます</p> <p>Do-cooking <small>情報ページ</small> <small>検索</small> http://www.do-cooking.com</p>
コードの長さ	(約) 1.3m		
定 格 時 間	2 分		<small>携帯からはこちら</small>

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
 - この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
- (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	◎は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、◎の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すること・強制」を示します。)

!**警告**

 禁止	交流 100 V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。	感電・火災・けがの原因になることがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。	感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	湿度の高いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで使用・保存はしない。 故障や変形の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		

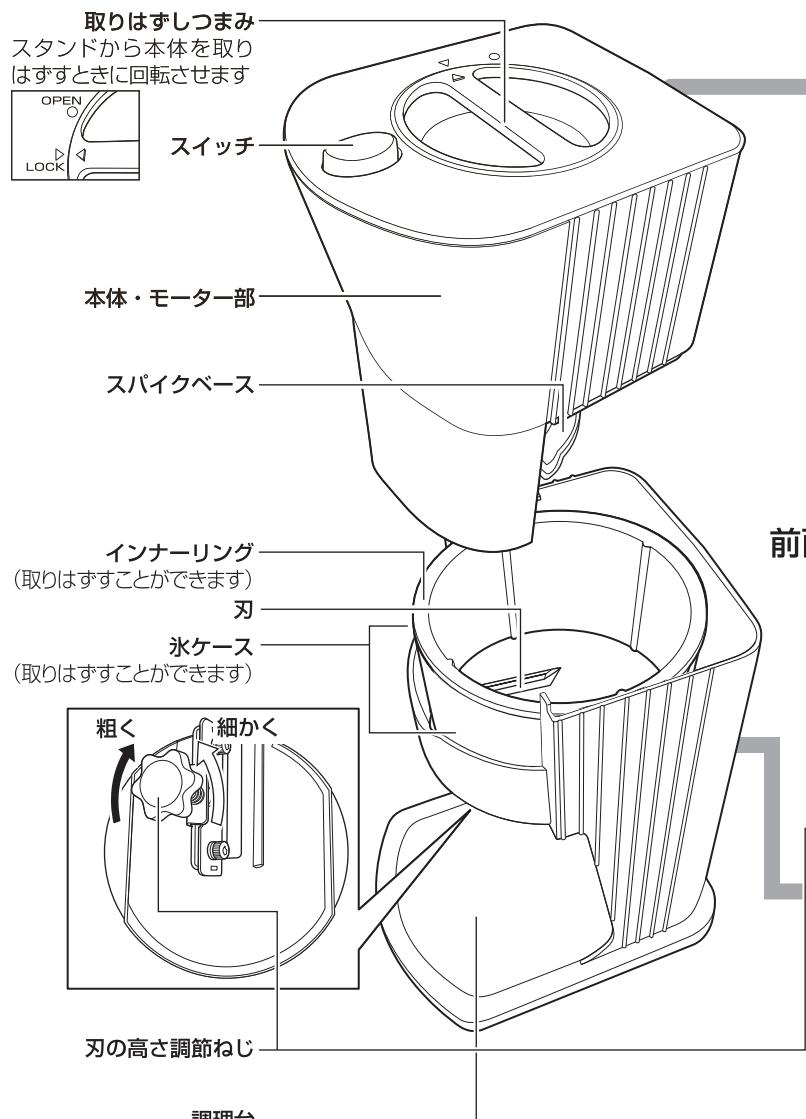
⚠ 注意

 接触禁止	<p>刃やスパイクには直接触れない。 けがの原因となります。</p>	 禁止	<p>専用の製氷カップで作った氷以外のものを氷ケースに入れない。 破損、故障の原因になります。</p>
 指示	<p>水分や振動に強い、水平な安定したテーブルなどの上で使用する。 モーター故障の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く。 感電、ショート、故障の原因になります。</p>		<p>製氷カップを加熱したり、電子レンジに入れたりしない。 破損、故障の原因になります。</p> <p>製氷カップや本体以外の水洗いできる部分は、40°C以上のお湯で洗わない。食器洗浄乾燥機を使用しない。 変形、変色、破損の原因になります。</p>
 禁止	<p>2分以上の連続運転はしない。 モーター故障の原因になります。</p> <p>運転中にスタンドから本体を取りはずしたりしない。氷ケースに氷以外のもの、本体内にものを入れない。 けがや故障の原因になります。</p> <p>変形や破損のあるときは、使用しない。 感電や火災、やけどの原因になります。</p>		<p>高いところから落とすなど、強い衝撃を与えない。 感電、けが、破損、故障の原因になります。</p> <p>タコ足配線をしない。 火災の原因になります。</p> <p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>本体を水につけたり、水洗いしない。 本体は防水されていないため、水が入るとショートや火災、感電の原因になります。</p> <p>業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。</p> <p>不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない。 落下して故障や破損の原因になります。</p> <p>氷を入れた状態で本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない。 本体に水が入り、感電、故障の原因になります。</p>		

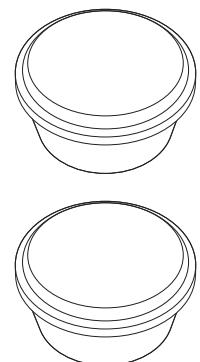
各部の名称とはたらき

△注意

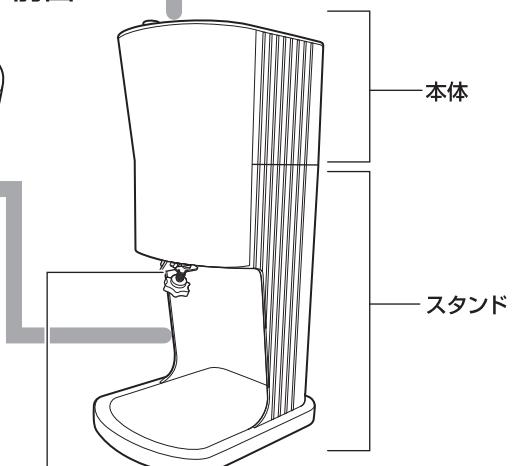
取りはずしつまみを持って、持ち運びしない。
スタンドがはずれて破損の原因となります。



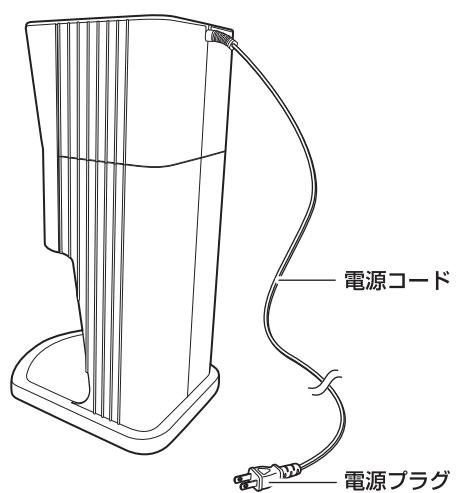
付属品



前面



裏面



準備

初めて使用する前に

1. 本体より下の部分を十分に洗って乾かす

「お手入れと保存」(9~10ページ)を参考に一度すべて分解して十分に水洗いして十分に乾かします。



本体は絶対に水につけない。
故障の原因になります。

氷を作る

1. 本体付属のフタ付製氷カップを十分に洗う

特に初めて製氷カップを使用するときは、十分に洗ってください。



製氷カップを洗うときは、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。
変形などの原因になります。

2. 水を製氷カップの約8分目まで入れ、フタをして冷凍庫に入れる

製氷カップに約8分目程度水を入れ、フタをして冷凍庫に入れてください。



製氷カップに水を入れすぎない。
製氷カップ破損の原因になります。

※水以外のものを氷にするときは、付属のアレンジレシピをご参照ください。

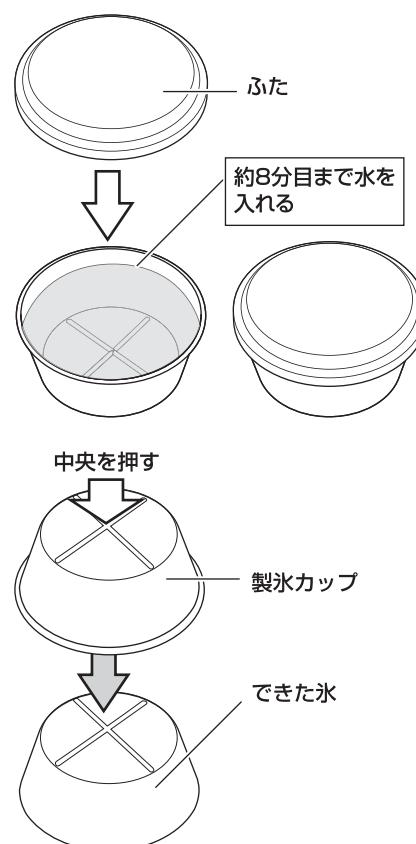
3. 氷が凍ったことを確認したら、フタをはずして氷を取り出す

使用するときは、フタをはずして製氷カップの中を押して、氷を取り出します。

- ・氷が取り出しにくいときはカップの外側を温め少し溶かすと取れやすくなります。



- ・冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接触れない。
皮膚が氷に密着し、けがの原因になります。
- ・氷を製氷カップから取り出すときに、たたきつけたりしない。
製氷カップの破損の原因になります。
- ・できた氷はできるだけはやく使用する。
氷をストックしておくことができますが、時間が経過すると霜が付き、かき氷に適した氷ではなくなります。



正しい使いかた

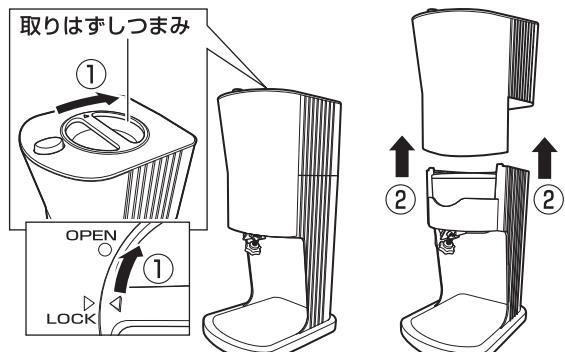
調理《氷を削る》

⚠ 注意

- ・テーブルや机以外の場所で使用しない。
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。

1. 水平な安定した場所に設置し、スタンドから本体をはずす

最上部の取りはずしつまみを回して①、スタンドをしっかりと押さえて、スタンドから本体を取りはずしてください②。

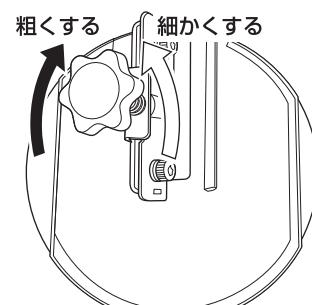


2. 刃の高さ調節ねじを回して最も細かい設定にする

右図のように、氷ケースの下にある刃の高さ調節ねじを左に回して、前もって最も細かい設定にしておきます。

⚠ 注意

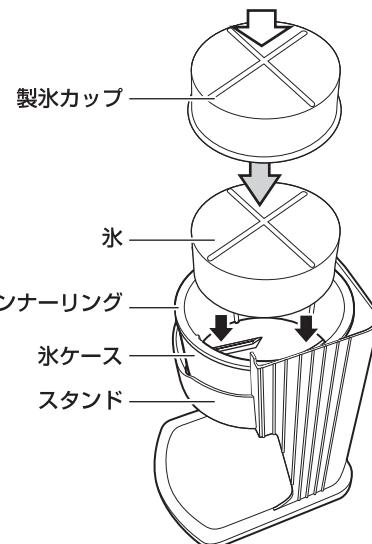
- 刃やスパイクベースには触れない。
鋭利なため、けがの原因になります。



3. 氷ケースにインナーリングをセットし、製氷カップで作った氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

氷ケースがスタンドにしっかりと乗っていることを確認してください。

付属の製氷カップで作った氷を氷ケースに入れてください。

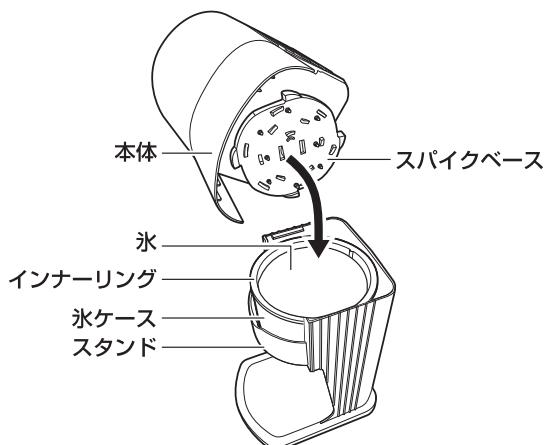


4. 氷ケースの上から、本体のスパイクベースで押さえつけるように、本体を取り付ける

本体のスパイクベースで氷に押さえつけるようにして本体を取り付けます。

※特に水以外の氷を入れたときは、氷が比較的柔らかくスパイクベースのところでからまわりすることもあるため、本体を取り付けるとき、スパイクベースを氷に食い込ませる感覚で取り付けてください。

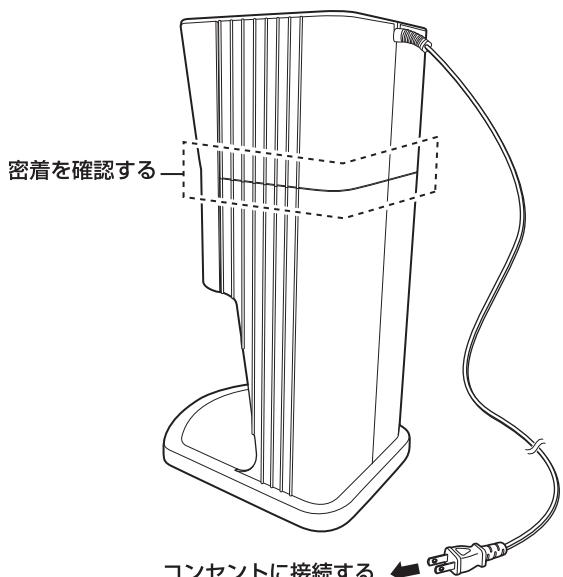
取り付けづらいときは、最上部の取りはずしつまみを回して左右の接合ツメを操作して取り付けてください。



5. 本体とスタンドがぴったり接合され てロックされていることを確認し、 調理台に、調理物を受ける容器を用 意する

直径 11.5cm 以下の容器を用意してください。

6. 電源プラグをコンセントに接続する



7. スイッチを押して、調理を開始する

本体をしっかりと押さえて、電源ボタンを押し
てください。



2 分以上の連続運転はしない。
モーター故障の原因になります。

本体のスイッチを押さないと製品は作動しませ
ん。また、本体をスタンドに正しく取り付けて
いない状態では作動しません。

本体のスイッチから指を離すと停止します。

- ・氷が無くなっても、自動で止まりませんの
で、スイッチから指を離して停止させてく
ださい。
- ・器にかたよって調理されたときは、器を回転
させてください。

できあがりの細かさ・粗さを調節できます。

氷ケースの下にある刃の高さ調節ねじを回すこ
とによって、細かさ粗さを調節できます。

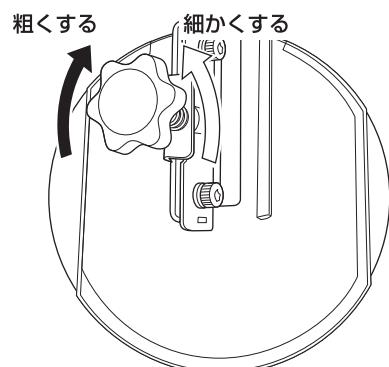
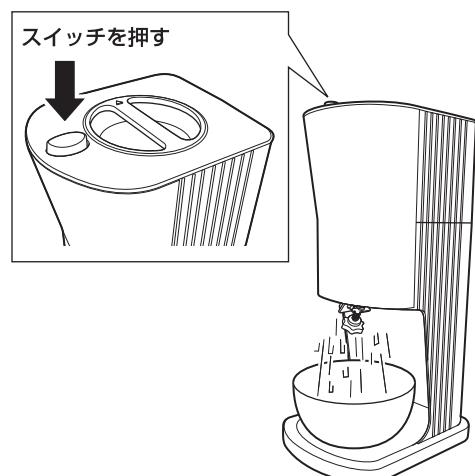
初めに細かく設定しておき、徐々に粗く設定す
るようにします。

※細かい設定にしそぎると、氷が刃に当たら
なくなり、空回りします。

※粗い設定にすると抵抗が増すため、粗い設
定にしそぎると、氷が動かなくなることがあ
ります。

※アルコールを含んだ氷を削らないでください。

※周囲に削れた氷が飛び散るので、口径の小
さい器に氷を削るときは、ぬれても良い場
所か、容器の下にふきんなどを敷いて削つ
てください。



正しい使いかた（つづき）

8. 本体をスタンドからはずし、スタンドから氷ケースの氷を捨てる

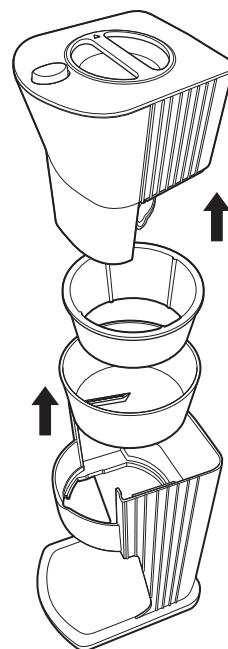
構造上、氷ケース内に氷が残りますが故障ではありません。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

※ 使用後は、本体に付着した水が垂れることがあります。ふきんなどの上において水切りをしてください。

⚠ 注意

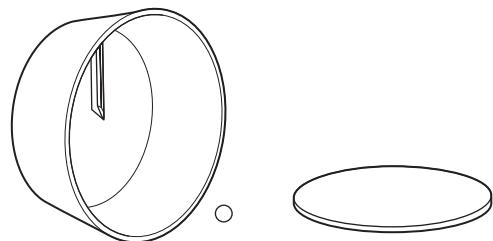
氷ケースに残った氷は捨てる。
残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。



調理が終わったら

9. 調理を終えたら、電源プラグをコンセントからはずし、お手入れをする

氷を削り終えたら、本体以外を洗って、十分乾燥させます（「お手入れと保存」9ページ）。



⚠ 注意

使用後は十分お手入れをして乾燥させる。
特に水以外のものを凍らせて削ったときは、そのままにしておくと、すぐにサビやカビなどの発生原因になります。

お手入れと保存

⚠️ 警告

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電やけが、やけど、故障の原因になります。
お手入れには、アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わない。
変形、変色の原因になります。

特に水以外のもので氷を作ったときは、早めに、念入り
にお手入れをしてください。

本体をお手入れする

⚠️ 警告

本体は絶対に水につかない。
故障ややけどの原因になります。

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

1. スタンドから本体をはずし、本体からスパイクベースをはずす

平らな場所に、本体の側面部を下にして置きます。スパイク部に十分気をつけ、スパイクベース裏側を見て、スパイクベースを左に回し、取りはずしてください。

2. 本体を乾いた布で拭く

スパイクベースの上の部分など、水滴が残らないように拭き取ってください。

汚れがひどいときは洗剤を含ませた布をしっかりしぼってから使用して、汚れがとれたら、乾いた布でからぶきしてください。

本体以外をお手入れする

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

3. 取りはずしたスパイクベース、スタンド、氷ケース、製氷カップ、すべて水洗いをする

本体以外すべて水洗いをしてください。

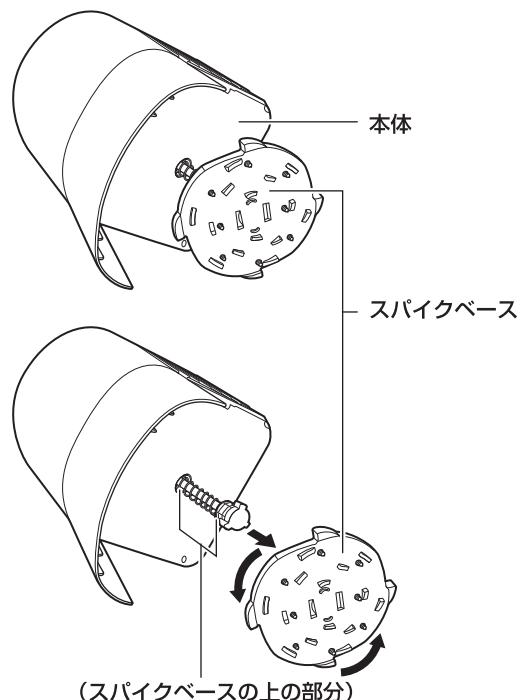
汚れがひどいときは、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。

⚠️ 注意

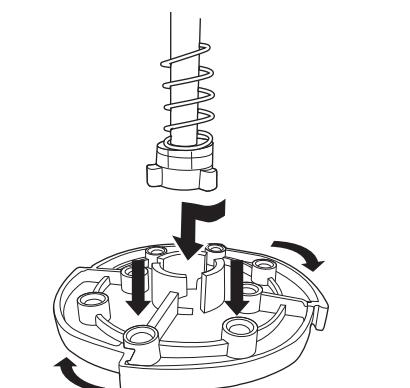
- 刃やスパイク部には触れない。
鋭利なため、けがをすることがあります。
- 氷ケースの刃の部分は分解しない。

4. 水洗いしたあと、十分に乾燥させて、元通り組み立てて保存する

刃の部分については、「刃の部分のお手入れ」をご覧ください。



スパイクベースのとりはずし



スパイクベースを左に回して引っぱります

お手入れと保存（つづき）

刃の部分のお手入れ

1. 水洗いで刃の汚れや水分を落とし、完全に乾燥させる
2. 乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。



刃やスパイク部には触れない。
鋭利なため、けがをすることがあります。

長期保存のしかた

長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾かしてから箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

※十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。

修理・サービスを依頼する前に



修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
スイッチを押しても作動しない	・本体がスタンドに正しく取り付けられていない	正しく取り付ける
	・電源プラグがコンセントからはずれている	電源プラグをコンセントに接続する
音はするが氷が削れない	・氷が氷ケースに入っていない	氷を氷ケースに入れる
	・氷ケース内に削れずに残った氷が入っている	氷を入れ替える
	・刃が出すぎた状態（粗い削り）になっていて回らない状態になっている（氷がロックしている）	刃の高さを調節してください
	・刃が低すぎた状態になって氷が空回りしている	
	・氷が氷ケースに貼り付いている	まわりの温度を上げる（低い温度のときに使用すると氷ケースに貼りつきやすくなります）
	・インナーリングを取り付けておらず、スパイクベースが空回りしている ・糖分が高く、柔らかい氷のため、スパイクベースが空回りしている	・インナーリングを取り付ける ・糖分を減らした氷に変更する
	・スパイクベースが空回りしている	・一度本体をスタンドから取りはずし、スパイクベースを氷に押し付けるようにして取り付ける ・氷を裏返しにしてみる
氷を削るスピードが遅い	・氷が少なくなったり、刃に当たる面が、なめらかになっていない	氷を裏返しにしてみる
	・氷が固い状態となっており、削るスピードが遅い、もしくは異音がする	氷を常温で放置し、少し溶かしてから削る
途中で止まってしまう	・氷がロックしている	刃を調節して細かい削りにする
	・2分以上使用している	電源プラグを抜き、30分以上削るのをやめる
本体を取り付けることができない	・製氷カップで作った氷を使っていない	製氷カップで作った氷を使う
	・氷ケース内に削れずに残った氷が入っている	氷を入れ替える

長年ご使用的氷かき器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源プラグ、電源コードが異常に熱い。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

株式会社 ドウシシャ

(東京本社) ☎ 108-8573 東京都港区高輪 2-21-46

(大阪本社) ☎ 542-8525 大阪市中央区東心斎橋 1-5-5

故障・修理についての
ご相談に関しては… ☎ お客様相談室 【受付時間】9:00～17:00（祝日以外の月～金曜日）
〒 556-0023 大阪市浪速区稻荷 1-6

☎ 0120-104-481

※商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアfterserviceにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。